

経専音楽放送芸術専門学校の人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

(音響スタッフコース、コンサート・照明スタッフコース、テレビ・ラジオスタッフコース)

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力《納期を厳守する責任感と一つの仕事にこだわりを持ちオリジナリティーを発揮できる探究心、及び学校で身につけたリーダースキル（意見を聞く、調整をする、まとめる、方向性を示す）に加え指導・育成力を持っている人》となり活躍している」ことを育成目的とします。具体的な3年後の姿は各コース・専攻別に下記の通りとします。

【音響スタッフコース スタジオレコーディング専攻】

- ①レコーディング機材や楽器の知識・技術を熟知している。
- ②エンジニアの指示に対して確実な仕事を行うことができる。
- ③現場の先輩としてリーダーシップを発揮し部下・後輩を育成できる。

【音響スタッフコース ライブ音響専攻】

- ①音響システムを理解し、設置することが出来る。
- ②舞台機構調整士2級合格レベルに達している。
- ③現場の先輩としてリーダーシップを発揮し部下・後輩を育成できる。

【コンサート・照明スタッフコース コン서트・イベント制作専攻】

- ①コンサートやイベントの企画・運営ができる。
- ②制作スケジュールの組み立て、管理ができる。
- ③現場リーダーとして全スタッフを取りまとめることができる。

【コンサート・照明スタッフコース コン서트・テレビ照明専攻】

- ①照明システムを理解し、設置・操作することができる。
- ②第二種電気工事士合格レベルに達する電気知識を持っている。
- ③現場の先輩としてリーダーシップを発揮し部下・後輩を育成できる。

【テレビ・ラジオスタッフコース Web動画・PV制作専攻】

- ①映像の撮影、編集、加工技術を持ち、複数の作品に携わっている。
- ②撮影現場の運営・進行ができる。
- ③現場の先輩としてリーダーシップを発揮し部下・後輩を育成できる。

【テレビ・ラジオスタッフコース テレビ番組制作専攻】

- ①映像、音声、照明、編集機材の知識および操作技術がある。
- ②テレビ番組現場の運営・進行ができる。
- ③現場の先輩としてリーダーシップを発揮し部下・後輩を育成できる。

【テレビ・ラジオスタッフコース ラジオ番組制作専攻】

- ①音楽ジャンルの知識を持っている。
- ②担当番組を持っている。
- ③現場の先輩としてリーダーシップを発揮し部下・後輩を育成できる。

■教育目標

本校は、就職3年後の姿を見据えて「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成（能力や意欲の違いを

把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導すること) することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に、各コース・専攻の修得目標を下記のように定めます。但し、社会人基礎力、高い職業意識と意欲は全コース・全専攻共通とします。

【音響スタッフコース スタジオレコーディング専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

レコーディング・MA機材を理解し、音の特性から作業工程の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

レコーディング・MAスタジオのシステムを理解し、機材の操作方法を学び、現場で実践できる技術力を身につけている。

【音響スタッフコース ライブ音響専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

楽器・音響機材のしくみ、特長、効果を理解し、音響プランを作成する基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

現場に必要な音響システムの設置方法、および操作技術を学び、現場で実践できる技術力を身につけている。

【コンサート・照明スタッフコース コン서트・イベント制作専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

コンサート・イベント分野を理解し、企画立案から運営・管理に必要な基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

コンサートやイベント制作に必要な機材の操作方法、図面作成やプランニングを学び、現場で実践できる技術力を身につけている。

【コンサート・照明スタッフコース コン서트・テレビ照明専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

舞台・テレビ照明分野を理解し、照明の演出・視覚的效果に必要な基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

舞台・テレビ照明に必要な機材の操作方法、仕込み図の図面作成やプランニングを学び、現場で実践できる技術力を身につけている。

【テレビ・ラジオスタッフコース WEB 動画・PV 制作専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

映像制作分野を理解し、WEB 動画やプロモーションビデオの企画制作から作品完成までの基礎

知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

WEB動画やプロモーションビデオの制作に必要な、カメラ、映像加工ソフトの操作方法を学び、現場で実践できる技術力を身につけている。

【テレビ・ラジオスタッフコース テレビ番組制作専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

テレビ・映像分野を理解し、ドラマ、報道、バラエティー他、番組を制作する上で必要な、機材・企画力の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

テレビ番組制作に必要なカメラ・音声・照明・編集機材の操作方法を学び、現場で実践できる技術力を身につけている。

【テレビ・ラジオスタッフコース ラジオ番組制作専攻】

《専門職業力》の修得目標

「知識」

ラジオ業界を理解し、ラジオ番組の仕組み、制作工程（ディレクター・DJ）等の基礎知識を基に応用・発展へとつなげることができる力を身につけている。

「技術」

ラジオ番組制作に必要な機材の操作方法およびDJスキルを学び、現場で実践できる技術力を身につけている。

【全コース・全専攻共通】

《社会人基礎力》の修得目標

- リーダーとしてのスキル（意見を聞く・調整をする・まとめる・方向性を示す）を身につけている。
- 現場で必要とされるコミュニケーション能力（相手の話を理解する、自分の意見を伝える）や社会マナー（時間の厳守、挨拶、身だしなみ）を身につけている。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

- 独創性・独自性を発揮できる力を身につけている。
- 自分の技能に自信をもち、安易に妥協せず、何事にもこだわって仕事をする力がある。
- 表現力とひらめきを求め日々磨く努力をする力を身につけている。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職としての基礎力とは、自分が所属する専攻（目指す職種）だけではなく関連する業界（職種）全体が理解・把握できる力を兼ね備えている事だと考えます。その為に、各専攻の専門科目に業界（職種）全体を理解する為の科目を加え、その内容を関連団体・企業からなる教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」及び「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

現場同様の業務を身体で学ぶ実践実習授業やイベント実習を取り入れ、その中で修得目標とする能力の必要性を自覚させ、実践できるカリキュラムを編成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成（能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導すること）することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- エンターテイメント業界を目指す高い目的意識と熱意を持っている人
- 基礎・理論の重要性を理解しその力を応用・発展につなげる意欲を持っている人
- 高等学校卒業レベルの基礎学力を持つとともに、人と関わるのが好きで、コミュニケーション能力を活かせる人

このような学生を適正に選抜するために多様な選抜方法を実施します。